

頑張ろう！被災者のみなさん。

第16陣 7月24日～7月30日 8名
第17陣 7月31日～8月5日 8名

連合救援ボランティアは仙台から気仙沼へ



連合ボランティア第16陣は、JR総連としては仙台最後の支援活動になりました。総勢54名で、JR総連からは8名（JR総連、JR北海道労組、JR東海労、鉄研労）の仲間に参加しました。特に今回はJR総連と鉄研労からそれぞれ女性組合員が参加しました。

暑い日が続き、この重い側溝の蓋を開けるのかと思いつつも汗ビッシヨリになりながら、やり遂げた満足感と被災者への思いもあり、皆さんいい顔をしてました。

二日目は、日本エネルギー産業労働組合連合会（JEC連合）との交流会を行いました。

一週間も瞬く間に過ぎ、それぞれが帰路につきましたが、この一週間ともにした生活は生涯にわたり深い絆で結ばれたことは言うまでもなく、社会にとって大切な人を大切にする気持ちが養われた被災地救援活動でした。

連合ボランティア第17陣から、JR総連の担当は気仙沼へと移りました。今回は二宮社長を筆頭に鉄道ファミリーから6名が参加し、JR貨物労組、JR総連合わせて8名で取り組みました。

田んぼのがれき集め、青果店の倉庫の片付け、投棄された土砂の片付けと多岐にわたる作業でしたが、1週間にかかるといわれた作業を2日で完了させるなど、労働組合の力を再認識してもらうことができました。

4日にはJR東労組組合員で連合気仙沼地協議長を務める東博さんが激励にみえ、作業のお手伝いまでして頂きました。



参加者の皆さん、お疲れさまでした！！